

超円高の波

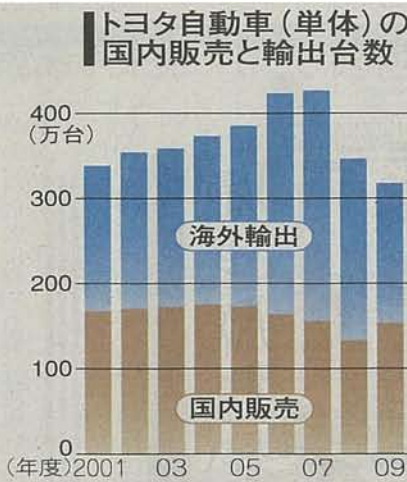
東海経済は今

「日本でのモノづく
りをなくしてはいけな
い。その思い入れだけ
でやっているといつて
も過言ではない」

十八日、トヨタ自動
車の豊田章男社長は記
者団に、経営に重くの
しかかる円高への苦悩
をにじませた。東京外
国為替市場の同日の円
相場は一時、一ドル一
円二二銭まで上昇。

「国内生産」を守り
はるかに上回る。
円高が日本の製造業
を揺さぶる中、トヨタ
は「国内生産」を守り
抜こうと懸命だ。主力
車「カローラ」の輸出
分は海外工場への生産
移管を検討している
が、減産分は次世代工
コカーの拡充などで補
う構えでいる。

ただ、日本の自動車
業績予想の前提とする
産業全体では生産の海



① 自動車産業

モノづくり正念場

外への大規模移管が加
速している。日産自動
車「マーチ」の相次ぐ海外移管
に続き、三菱自動車
も二〇二二年、同じタ
イで小型車の生産を始
める予定。大手メーカ
の経済にも大きく影響
する。

知県大府市)は今春、
け自動車部品メーカ
初の海外拠点となるタ
の社長は「海外に出て
工場を稼働させ、海
外向けの生産移管を進
業には余力がなく、難
めている。さらに円高
しい」。

「トヨタが(国内で
の大規模減産を)やっ
たら、モノづくりで生
きているこの国はどう
なるのか」。その思い
は、「超円高」に立ち
向かう多くの企業に共
通する。

(青柳知敏、藤嶋崇)



の長期化を予想し、三
年後を予定していた中
「安価な海外製品に
切り替える」と通告さ
した。鬼頭佑治社長は
「このままでは現地メ
ック後を上回る仕入
値の大幅値下げも
迫られ、「苦しくても
術開発拠点などに切り
替え、空洞化を防ぐ」
と話す。

一方、産業ヒラミッ
ドのすそ野を支える中
小・零細企業には資金
はあり得ない」。円高
とらえる業種もある。
円高の波をつまぐ乗り
切れるのか、波にのまれ
てしまつのか。東海地
方の製造、金融、小売
りなどの現場を緊急リ
ポートする。

海外進出で製造設備が移され、空きスペース
が広がる工場―愛知県大府市の協和工業で